

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	455	友好都市議員研修事業							
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう								
			基本事業	広域交流								
	主管課名		議事課			課長名	村瀬 智世子					
	この事務事業の開始時期		平成13年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		なし									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	友好都市（北海道士別市・長野県木曾町）を議員が訪問することにより、市政の施策に寄与し、自己の政策形成能力を養うとともに、相互の交流を図る。					友好都市（士別市・木曾町）を訪問し相互の交流を図ることは、両市町の友好関係を維持するために必要である。 木曾町：全議員対象に改選年に開催。 士別市：未訪問議員対象に改選翌年に開催（議員在任期間中に1回参加）。 コロンバス：市制10周年記念事業として、令和2年度に議員5名を対象に開催。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			平成31年度は全議員が木曾町に、副議長が北海道士別市に訪問し、交流を図った。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	目的が相互交流だけでなく、周辺市町村を含めた研修に重点が変化してきた				名称		単位					
					①	士別市・木曾町を訪問した延べ議員数	人					
		②										
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
士別市・木曾町未訪問の議員					名称		単位					
		①	士別市未訪問の議員数		人							
		②	木曾町未訪問の議員数		人							
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
士別市、木曾町との友好を図る					名称		単位					
		①	士別市、木曾町を訪問した議員数		人							
		②										
結果（上位基本事業の意図）					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
自主的な交流活動をしてもらう					名称		単位					
		①	友好都市交流が重要と答えた人の割合		%							
		②										
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 人			21	5	1	1	21			
		②										
(2)の 対象指標		① 人			4	4	0	0	9			
		② 人			0	0	0	0	20			
(3)の 成果指標		① 人			21	5	1	1	21			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① %			54.5	54.5	54.5	54.5	54.5			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	01	項	01	目	01
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費（決算又は予算額）A		単位	0	0	287	4,080	821	135	357			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	287	4,080	821	135	357			
人件費B		千円	0	0	604.8	604.8	604.8	604.8	604.8			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	60×3	60×3	60×3	60×3	60×3			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	0	0	891.8	4,684.8	1,425.8	739.8	961.8			
単位あたりコスト ①		千円/人	0	0	223	1,171.2	0	0	106.9			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/人	0	0	0	0	0	0	48.1			

事務事業名		No.	455		友好都市議員研修事業		
2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない		理由	市政の施策に寄与し、自己の政策形成能力を養うとともに、相互の交流を図ることができているため。		
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		その理由	士別市・木曽町未訪問の議員という対象が変わらないため、見直す必要はない。		
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		その理由	議員の自己の政策形成能力を養い、士別市、木曽町との交流を図るといった目的に変化はないため		
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容		できない。 対象となる議員はすべて参加している。			
	目的達成状況	内容		計画通り達成			
	市関与の必要性（実施手法）	内容		<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 議員の交流事業で友好都市との調整は議会事務局の職員が行うことがふさわしいと考えるため。			
効 率 性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容		市の代表である議員が友好都市との交流を図る事業は、類似する事業が無く統合することができない。			
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容		友好都市（士別市・木曽町）との議会交流が希薄になってしまうため、当事業の事業費を削減することはできない。			
公 平 性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない		内容	今後も議員の自己の政策形成能力を養い、士別市、木曽町との交流を図る必要があるため		
3 改 革 改 善 案 A C T I O N	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	議員からは、この事業は必要であるという意見が出ている。		対応策	事業を継続し、友好都市との交流を図る。	
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	士別市、木曽町との交流		変更・追加	コロンバス市との交流	
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 今後も引き続き研修を実施し、友好都市との交流を図る。			
コストの方向性			↓ 減少				
成果の方向性			→ 維持				

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	251	友好の森維持管理事業						
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち							
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう							
			基本事業	広域交流							
	主管課名		産業課		課長名	野々山 千広					
	この事務事業の開始時期			平成13年	事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令			なし							
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	長野県木曾町三岳地区内にある「みよし市友好の森」の維持管理 【みよし市友好の森（規模、内容）】 ・用地（旧三岳村有林・旧国有林） 378,415㎡ ・森林活用型施設 散策道、管理道路 6,000m、あずま屋 1棟 案内板、啓発用看板				・現状 全地球的な環境問題への対応 水源の実情に対する受益地への期待 ・必要性 水源地の森林環境の保全（枝打ち・除伐・間伐）とその有効活用に努める 次代を担う子ども達の環境体験学習の場として活用						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			施設の維持管理業務、橋修繕工事、定期巡回（年8回）							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	現在事業途中のため現状のまま継続して実施				名称		単位				
					① 管理用歩道下草刈り延長距離	m					
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）						
みよし市友好の森（長野県木曾町三岳地区） 市民					名称		単位				
					① 友好の森面積	ha					
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）						
水源涵養林としての機能の維持					名称		単位				
					① 友好の森管理されている面積/総面積	%					
結果（上位基本事業の意図）					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
自主的な交流活動					名称		単位				
					① 自主的な交流活動と答えた人の割合	%					
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標	① m			2,550	2,550	2,550	2,550	2,550			
	②										
(2)の 対象指標	① ha			38	38	38	38	38			
	② 人			61,040	61,570	62,100	62,360	62,620			
(3)の 成果指標	① %			100	100	100	100	100			
	②										
(4)の結果の 成果指標	① %			8.6	8.6	8.6	8.6	8.6			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	06	項	02	目	02
コスト	年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費（決算又は予算額）A	単位	0	0	2,586	2,598	2,598	2,598	2,598			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	2,586	2,598	2,598	2,598	2,598		
人件費B	千円	0	0	2,016	2,016	2,016	2,016	2,016			
正職員従事時間×人数	時間×人	0×0	0×0	200×3	200×3	200×3	200×3	200×3			
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C	千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C	千円	0	0	4,602	4,614	4,614	4,614	4,614			
単位あたりコスト	① 千円/ha	0	0	121.1	121.4	121.4	121.4	121.4			
(トータルコスト/②)の対象指標	② 千円/人	0	0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			

事務事業名	No.	251	友好の森維持管理事業
-------	-----	-----	------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	水源涵養林としての機能を果たしている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	対象を見直すことは出来ない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	目的を見直すことは出来ない。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	森林保護、環境保全をしていくため、間伐作業の充実を図る。	
	目的達成状況	内容	友好の森の維持管理	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 木曾森林組合に維持管理委託	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	統廃合は出来ない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	現状より、事業費・人件費の削減は出来ない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	設置目的から適正と考える。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	散策路が荒廃し、利用者がほとんどいないと聞く。	対応策	広報、ホームページを活用し、広く市民に利用推進の啓発を行う。
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	維持管理事業、橋修繕工事、定期巡回（年8回）	変更・追加	橋修繕なし
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ・森林環境の保全事業と森林有効活用との連携 ・木曾町三岳地区との連携 ・樹木の間伐とその木材の有効活用			
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		↑ 増加			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名 No. 252 友好の森ふれあいツアー事業											
	この事務事業 の位置	政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち									
		施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう									
		基本事業	広域交流									
	主管課名	産業課	課長名	野々山 千広								
	この事務事業の開始時期	平成15年	事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務								
	この事務事業の根拠法令	なし										
	事業の概要			現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由								
	小学生以上の市民の参加者を募集し、長野県木曾町三岳にみよし市が所有する森林(みよし市友好の森)で、木曾町や木曾森林組合等の指導協力を得て、間伐作業の体験を行う。		<ul style="list-style-type: none"> ・平成12年度に取得した「みよし市友好の森」(平成14年度に整備終了)で、市民への環境保全の大切さについて理解を得るためにも必要である。 ・次代を担う子どもたちの環境体験学習の場として必要である。 									
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		事業計画、木曾町及び木曾森林組合との調整、参加者の募集、ツアーの開催、アンケート調査									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか			(1) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)									
変 化 内 容	現在事業途中のため現状のまま継続して実施		名称		単位							
			① ツアー参加者			人						
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(2) 対象指標 (対象の大きさを表す指標)									
市民			名称		単位							
			① 人口			人						
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)			(3) 成果指標 (目的の達成度を示す指標)									
森林の適正な保全が大切なことを知ってもらう 森林保全の方法を体験してもらう			名称		単位							
			① 保全の大切さを理解した人/参加者			%						
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標 (上位基本事業の成果指標)							
								名称		単位		
自主的な交流活動をしてもらう					① 自主的な交流活動と答えた人の割合			%				
								名称		単位		
					②			%				
								名称		単位		
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 人			29	35	35	35	35			
		②			1	1	1	1	1			
(2)の 対象指標		① 人			61,040	61,570	62,100	62,360	62,620			
		②										
(3)の 成果指標		① %			97	100	100	100	100			
		② %			86	100	100	100	100			
(4)の結果の 成果指標		① %			8.6	8.6	8.6	8.6	8.6			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	06	項	02	目	02
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	332	408	396	396	396			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	20	32	32	32	32			
	一般財源	千円	0	0	312	376	364	364	364			
人件費 B		千円	0	0	2,929.9	2,929.9	2,929.9	2,929.9	2,929.9			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	218×4	218×4	218×4	218×4	218×4			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコスト A+B+C		千円	0	0	3,261.9	3,337.9	3,325.9	3,325.9	3,325.9			
単位あたりコスト ①		千円/人	0	0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名		No.	252	友好の森ふれあいツアー事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	木曽町や木曽森林組合等の指導協力を得て、間伐の体験を行い、森林保全の大切の周知が出来ている。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	対象を見直すことは出来ない。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	目的を見直すことは出来ない。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	間伐体験だけでなく、他の体験プログラムを併用することにより参加者の増員を図って行く。		
		目的達成状況	内容	間伐体験の実施。		
		市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 市直営にて実施		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	友好の森の維持管理と合わせて事業実施を行う。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	友好の森の維持管理と合わせて事業実施を行う。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	他の体験プログラムを実施した場合、教材費などの負担は必要。	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	子供達には、大変良い機会なのでもっと充実した事業にして欲しい。	対応策	友好の森ふれあいツアーの体験プログラム等の見直しを行い参加者が満足のいく内容を実施していきたい。
R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	計画、参加者募集、木曽町、森林組合と打合せ・協力依頼、ツアー実施、アンケート	変更・追加	変更・追加なし	
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ・雨天時における実施場所の確保など体験プログラムの見直しを要する。 ・国、県、木曽町等の関係機関と事業実施のため調整を行う ・木曽町三岳地区との連携を進め、地区の人との交流を深める ・令和2年度に友好の森維持管理事業との統合を検討する。			
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	407	小学生士別市交流事業					
	この事務事業の位置		政策		安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち					
			施策		文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう					
			基本事業		広域交流					
	主管課名		学校教育課			課長名	都築 克章			
	この事務事業の開始時期		平成13年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	この事務事業の根拠法令		みよし市友好都市国内交流事業補助金交付要綱							
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由				
	士別市へ市内の代表小学生を派遣する。また、士別市の代表小学生を受入する。事業を通じ双方の交流を推進する。					平成12年10月の三好町と士別市の友好提携を契機として、今後一層の友好関係を深めていくための相互交流の推進を図るため。子供同士の交流の見直しを図りつつ平成15年度から学校別研修を取り入れ事業の充実化を図ってきた。応募状況は、過去5年間でみても毎年度100人前後の応募があり、児童からの関心も高い事業となっている。なお、派遣された児童は、士別市での交流活動に意欲的に取り組み、その活動に十分満足している。				
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			4月に全小学校の5・6年生全員に対して募集し、32名の代表を選考した。説明会を含め3回の事前研修を実施した。士別市教育委員会と連絡を取り合い、3泊4日の日程で派遣事業を行った。また、1月に3泊4日の日程で派遣された士別市の児童20名との交流を行った。						
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）					
変 化 内 容	子ども同士の交流の見直しを図りつつ平成15年度から学校別研修を取り入れた。また、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、士別市派遣事業は中止となった。				名称		単位			
					① 研修回数		回			
		② 派遣・受入期間		日						
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）					
市内小学校5・6年生					名称		単位			
		① 5・6年児童数		人						
		② 交流を行う学校数		校						
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）					
北海道の大きな自然環境に触れたり、友好都市の児童と交流したりすることで、異なる文化の良さに触れ、視野を広めさせる。					名称		単位			
		① 士別市派遣団員児童数		人						
		② 士別市受入児童数		人						
結果（上位基本事業の意図）					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）					
自主的な交流活動をしてもらう					名称		単位			
		① 友好都市の交流推進が重要だと思う割合		%						
		②								
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標										
指標 \ 年度		単位	H30年度実績値	H31年度計画値	H31年度実績値	R2年度計画値	R3年度目標値	R4年度目標値	R5年度目標値	
(1)の活動指標	①	回			3	0	3	3	3	
	②	日			8	4	8	8	8	
(2)の対象指標	①	人			1,378	1,274	1,230	1,232	1,195	
	②	校			8	1	8	8	8	
(3)の成果指標	①	人			32	0	32	32	32	
	②	人			20	20	20	20	20	
(4)の結果の成果指標	①	%			64	50	70	70	70	
	②									
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	02
コスト		年度	H30年度実績値	H31年度計画値	H31年度実績値	R2年度計画値	R3年度目標値	R4年度目標値	R5年度目標値	
事業費（決算又は予算額）A		単位	0	0	2,632	3,261	3,250	3,250	3,250	
財 源 内 訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0	0	
	県支出金		千円	0	0	0	0	0	0	
	地方債		千円	0	0	0	0	0	0	
	その他		千円	0	0	0	0	0	0	
	一般財源		千円	0	0	2,632	3,261	3,250	3,250	3,250
人件費B		千円	0	0	1,612.8	0	1,612.8	1,612.8	1,612.8	
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	480×1	280×0	480×1	480×1	480×1	
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0	
その他の費用C		千円	0	0	33	0	33	33	33	
トータルコストA+B+C		千円	0	0	4,277.8	3,261	4,895.8	4,895.8	4,895.8	
単位あたりコスト		千円/人	0	0	3.1	2.6	4	4	4.1	
(トータルコスト/(2)の対象指標)		千円/校	0	0	534.7	3,261	612	612	612	

事務事業名	No.	407	小学生土別市交流事業
-------	-----	-----	------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	異なる文化の良さに触れ、事業を通じて交流ができています。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	友好都市提携の大きな目的である人づくりのための事業として実施するには、小学校高学年が最適と考えるため。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	目的としている、視野を広め、相互理解と友好親善ができています。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	事前研修を含め、事業内容について、児童の意見を参考に充実させることで成果向上が見込める。	
	目的達成状況	内容	達成できている。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 市からの補助金で実施している。	
効 率 性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	スポーツ課の類似事業で、サッカー派遣団・少年野球派遣団があるが、目的が違うため、統廃合は難しい。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	事前打合せ1回、研修会3回行っているが、事前の準備として必要であり、現状より削減することは難しい。	
公 平 性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	市の補助金と参加者の負担金で実施している。

3 改 革 改 善 案 A C T I O N	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	学校・保護者から、引率教諭を各校1人にしてほしいとの要望がある。	対応策	引率教諭の人数について検討する。
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	・事前説明会及び事前研修会を実施 ・7月下旬に3泊4日で土別市派遣 ・1月に土別市児童受入	変更追加	・7月下旬の土別市派遣は中止
	今後の事業・コスト・成果の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容幅広い世代にまでに交流の輪が広がるように、必要に応じ内容を見直しながら今後も事業を継続する。	
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	426	友好都市小学生スポーツ交流事業						
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち							
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう							
			基本事業	広域交流							
	主管課名		スポーツ課		課長名	甲村 聡					
	この事務事業の開始時期		平成10年		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市友好都市国内交流事業補助金交付要綱								
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	友好都市国内交流の一環として、少年野球、少年サッカーを通じた土別市とみよし市のスポーツ交流会を開催する。 毎年、みよし市から交流団（野球チームとサッカーチーム）を土別市へ派遣している。令和2年度からミニバスケットボールチームの派遣、交流を予定。また、土別市の交流団（野球チームとサッカーチーム）を毎年受け入れている。				派遣、受入れともに交流試合のみならず、ホームステイをしながら交流を深めている。 スポーツを通じて、友好都市である土別市とみよし市の交流を深めるとともに、参加者の豊かな創造性と責任のある行動を体得する機会とし、青少年の健全育成を図るために必要である。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			サッカーでは、各小学校2名の選手推薦を依頼、土別市へ派遣し、大会への参加、ホームステイなどを行った。 野球では、両市ともに少年野球クラブが選抜チームを結成し、交流イベント、交流試合、ホームステイを実施した。 受入れは、サッカー、野球ともに新型コロナウイルスの影響により中止した。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	対象となるみよし市少年スポーツ交流団に変化がないため、継続して実施。			名称		単位					
				① 交流団派遣回数	回	② 交流団受入回数	回				
対象（この事業の対象、範囲となる人、物） 市内小学生				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
				名称		単位					
				① 市内小学6年生の人数	人	②					
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか） 参加者同士の相互交流を深める。				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
				名称		単位					
				① 交流団派遣人数	人	② 土別市交流団受入人数	人				
結果（上位基本事業の意図） 市民の自主的な交流活動が行われる。				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
				名称		単位					
				① 友好都市の交流を重要と答えた割合	%	②					
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 回			2	3	3	3	3			
	② 回			0	2	2	2	2			
(2)の 対象指標	① 人			1,272	1,297	1,284	1,271	1,258			
	②										
(3)の 成果指標	① 人			28	48	48	48	48			
	② 人			0	32	32	32	32			
(4)の結果の 成果指標	① %			54.5	56	56	60	60			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	10	項	06	目	01
コスト	年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費（決算又は予算額）A	単位	0	0	3,138	5,955	6,299	5,981	6,299			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	3,138	5,955	6,299	5,981	6,299		
人件費B	千円	0	0	2,580.5	2,751.8	2,751.8	2,751.8	2,751.8			
正職員従事時間×人数	時間×人	0×0	0×0	128×6	117×7	117×7	117×7	117×7			
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C	千円	0	0	193	193	193	193	193			
トータルコストA+B+C	千円	0	0	5,911.5	8,899.8	9,243.8	8,925.8	9,243.8			
単位あたりコスト	① 千円/人	0	0	4.6	6.9	7.2	7	7.3			
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	426	友好都市小学生スポーツ交流事業
-------	-----	-----	-----------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	交流団の派遣・受入を行うことによって、それぞれの市の文化に親しむことができている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	その理由	種目がサッカーと野球に限られてしまっているため、他の種目の追加を行う。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	環境変化はなく、目的を見直す必要性はない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	交流団のメンバーとなりえる小学生に積極的に募集を行う。	
	目的達成状況	内容	士別市交流団の受入は、新型コロナウイルスの影響によりサッカー、野球共に中止。派遣については、計画どおり実施。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 交流団の派遣の際に交流団に補助金を支給する必要がある。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	交流団が主体となるため、統廃合できない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	交流団派遣人数の検討	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	派遣に必要な費用と参加者負担の割合の見直し。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	種目が野球・サッカーの2種目で固定されており、参加者のほとんどが男子である。	対応策	他種目（陸上等）での実施について検討していく。
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	交流団派遣・士別市交流団受入でサッカー、野球の2種目を実施。	変更追加	交流団派遣の種目にバスケットボールを追加。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 女子種目、他種目（陸上など）での実施について検討する必要がある。			
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			